

広島テレビ発 ～森から防災～

森が災害防止にどのように役立っているか、体験を通して考えるイベントに参加



森の防災教室。山本理事長、気象キャスター塚原美緒予報士と共に



間伐体験



森のクラフト



森から防災参加の親子

広島テレビは開局 60 周年記念事業として、防災に強い地域づくりに貢献しようと【いま動こう！みんなで防災PROJECT】を立ち上げています。

その一環として 6 月 4 日、尾長天満宮の杜にて『森と防災のつながりを考える一日』のイベントが開催されました。(すでにテレビで放映され、ご覧になった方もたくさんおられるかと思います。) 森がどのように防災に役立っているかを、広島テレビ気象キャスター塚原美緒予報士と共に 26 組 (計 52 人) の保護者と子ども達が、森についての学習、森林間伐体験、クラフト体験を通して森と防災のつながりについて考えました。

当企画については、もりメイト倶楽部 Hiroshima が広島テレビから要請を受け、場所の選定から活動の内容、指導スタッフ等に至るまでのプログラムデザインを山本理事長が担当、終始充実した一日となりました。これからも未来を担う子ども達や、一般の人たちに森づくりの大切さを伝え、啓発に力を注いでいきたいと願っています。